

知識は 旅をする



千葉県立東部図書館だより

2022年3月

第73号



『仮名読八犬伝』為永春水(2代目)作、歌川国芳画ほか
(「菜の花ライブラリー」千葉県デジタルアーカイブ)

▼ 展示のご案内

【資料展示コーナー】

「災害を考えよう」

展示期間：2月11日～4月14日
いつ起こるか分からないのが自然災害です。ここ数年、日本で起きた災害はどのくらいあったでしょう。地震、豪雨、台風……。いざというときの備えをしていますか。この機会にもう一度災害について考え、命を守るための方法を考えてみませんか。

【ガラス展示コーナー】

「震災と千葉県」

展示期間：2月11日～4月14日
東日本大震災が発生してから、今年で11年。千葉県内でも大きな被害を受けました。千葉県における東日本大震災や、それ以前の震災関係の資料を展示しています。震災を振り返るとともに、震災を経験した人々の思いを見つめてみましょう。

* 訪問読書支援 ～県立特別支援学校でのお話し会～ *

本の好きな子を育てるために、県立特別支援学校を訪問し、大型絵本を使ったおはなし会を実施しています。今年度は、12月に飯高特別支援学校、東金特別支援学校、1月に八日市場特別支援学校にお邪魔しました。手遊びうた「はじまるよはじまるよ」や「ひとつとひとつでどんなおと」でリラックスした後は、いよいよ絵本の読み聞かせです。事前に担当の先生方と十分に打合せをし、できるだけ子どもたちの実態に合った本を用意しました。『きんぎょがにげた』のお話では、「ここにいるよ!」と逃げた金魚を見つけて指を差したり、『やさいのおなか』の絵本では、野菜の切り口のシルエットを見ながら「んん?何かな」と考えたりしながら、楽しくおはなし会に参加していました。元気で素直な子どもたちにまた来年もお会いしたいです。



「そらまめくんのベッド」のお話にも熱心に耳を傾けていました。

▼ 利用者アンケートを実施

令和3年10月27日から11月9日の間、来館された皆様にご利用者アンケートをお願いしました。お忙しい中アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

⇒ 「千葉県立東部図書館 利用者アンケート集計結果」を別項に掲載しました。

ホームページ URL

<https://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

↑PC・スマホ等の方はこちらへ

携帯電話機の

QRコードリーダーでアクセスできます→



『いやな気分よ、さようなら 自分で学ぶ
「抑うつ」克服法』

デビッド・D. バーンズ 著

星和書店 2006年 [49376/18/13]

楽しみなこと、新鮮なこと、ワクワクがいっぱいの春！明るい気持ちで1年間を過ごしたい！そんな方におすすめしたい一冊です。この本によると、感情は現実起こったことをどのように解釈するかで決まるそうです。この本には、歪んだ考え方の種類や気持ちが落ち込んだときの克服方法などが書かれています。

「どうせ自分なんか……。」とか「何もやる気が起きない。」という気持ちになっても、この本があれば大丈夫！すぐに良い気分になって楽しい毎日を過ごせるようになるでしょう。

図書館ぶらり散歩 (53)

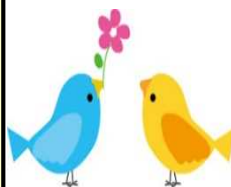
スタート！

『定年をどう生きるか』

岸見一郎 著

S Bクリエイティブ

2021年 [L159/5]



本来、新しい人生のスタートである定年。でも定年後の家族や社会との関係に不安を感じる方も多いと思います。この本は、大ベストセラー『嫌われる勇気』の著者が、なぜ定年が不安なのか、どんな準備が必要か、分かりやすく解説しています。

定年後の人生を幸福にするポイントは対人関係のあり方や、自分の価値についての考え方を変えること。それまでの価値観を変えることで、肩の力が抜け、希望をもって生きられるようになれます。定年を迎えた方にも、定年がまだまだ先の方にも、生き方を見つめ直すのに最適な一冊です。

[]内は資料の請求記号です。

『失敗だらけの人類史』

ステファン・ウェイア 著

日経ナショナルジオグラフィック社

2018年 [204/217]

新しい始まりに、胸を躍らせる人もいれば失敗したらどうしようと不安になる人もいますよね。後者のタイプにおすすめなのがこちらの本。

人類は、アダムとイヴの原罪から始まる種多様な失敗をくり返しながらかこまで続いてきました。愚かな政策で国を滅ぼし、予見できた災害を見逃して甚大な被害を出す。この本にはそんな世紀の大失敗がたくさん紹介されています。

こんな大きな失敗をしても世界は回るのだと思えば小さな不安も吹き飛びますし、こうはならないぞという反面教師にもなることでしょう。

春は始まりの季節。新しい季節のスタート
におすすめの本を紹介します！

『はじまりの日』 ※中央図書館所蔵

ボブ・ディラン 作

岩崎書店 2010年 [JE/ロホ]

ボブ・ディランの「FOREVER YOUNG」という歌を知っていますか？彼が愛息ジェイコブを想って作った歌は、世界中の人の心を動かし続けています。この歌を元に描かれた絵本を紹介합니다。ボブ・ディランが歌に込めたメッセージをやわらかく、分かりやすい言葉に訳しています。

新しい季節、春。希望でいっぱいですか？少しだけ寂しくて不安という人もいるのではないのでしょうか。でも大丈夫。ひとりじゃない。そんな風に思わせてくれる一冊です。

毎日がスタート。いつだって今日が「はじまりの日」なのです。

使って
みませんか

パスファインダー

パスファインダー (Pathfinder) とは

「情報爆発の中でほしい資料や情報を効率的に探せないか。」

利用者が、特定のテーマや話題について、資料や情報を探したいときに手始めとなる基本資料や調べ方を紹介した手引きのことです。調べ方案内とも言います。パスファインダーを使うことで、効率的な探索を行うことができます。

*パス (path) は道や小道、ファインダー (finder) は見つけるもの、パスファインダーは道案内のこと。



<どんなテーマがあるの?>

千葉県関係では「千葉県の新聞記事を探す」、歴史関係では「日本の遺跡」、文学関係では「和歌を探す」、ビジネス関係では「企業・業界情報の調べ方」、医療では「認知症について調べる」など様々な分野のテーマ (主題) を作っています。



<どんな内容なの?>

主に、検索時に使用する「キーワード」、基本的な事柄や全体像を知ることができる事典や年鑑などの「参考書」、上記キーワードを使って見つかる「資料の例」、おすすめの「インターネットサイト」などで構成されています。紹介している資料には、職員が解題をつけて、どのような資料かを簡潔に説明しています。



<どこで手に入るの?>

県立図書館各館でリーフレットとして配布しているほか、県立図書館ホームページで、すべてのパスファインダーを閲覧・ダウンロードすることができます。

(<https://www.library.pref.chiba.lg.jp/reference/pathfinder/index.html>)

パスファインダーは、テーマに関する単なる資料リストとは異なります。図書館員の調べ方のノウハウが詰まった、いわば「調べ方の虎の巻」です。県立図書館で資料を探すときだけでなく、地元の図書館で資料を探すときにも、そのノウハウを活用することができます。また、探究的な学習の参考にもなります。



東部図書館で実施した図書館員向け研修会

東部図書館で行った図書館員向けの研修事業から、今年度実施したものをご紹介します。

学校図書館運営研修会

令和3年8月6日(金)

「誰でもできる図書館活動 ～子どもの読書活動推進～」

子どもの読書活動推進のために、高校や特別支援学校の図書館の先生、市町立図書館の職員が集まり研修会を行いました。

「**ライぶらりの紹介**」 「ライぶらり」とは参加者が図書館を散策しながら、与えられたテーマに沿って面白そうと思った本を選び、なぜその本を選んだのかを短時間で紹介し合う、全員参加型の読書活動です（山口県子ども読書支援センターにおいて平成30（2018）年に考案）。図書館を身近に感じ、自然に足を運べるようになるなどの利点があります。研修では、実際に図書館の本棚から好きな本を選び発表しました。みんな、童心にかえって大変盛り上がりしました。

「**POP作りのコツ研修**」本を紹介するカードPOP。POPづくりに特別な技術は必要ありません。ただ、ちょっとしたコツを知っていれば大丈夫！みんなでPOPづくりのコツを勉強しました。

「**情報交換会**」学校図書館の先生と市町立図書館職員が子どもたちの読書活動を活発にするにはどうすればいいか話し合いました。

参加者からは「ライぶらりがとても楽しかった」「POPづくりが大変参考になった」「市町立図書館と学校図書館の連携について話し合えてよかった」などの声があがりました。



課題解決支援サービス研修会

令和3年12月9日(木)

「電子図書館・電子資料の基礎を知る」

この研修会は図書館を利用して様々な困りごとの解決を手伝う「課題解決支援サービス」の実施のため、サービスに活かせる知識を学ぶことをねらいとしています。今回は「電子図書館・電子資料」をテーマに、帝京平成大学准教授の間部豊先生を講師に迎え、インターネットを通じて電子書籍を無料で借りられる「電子図書館」や、そこで扱うコンテンツについて学びました。コロナ禍で注目が集まり、今後も更に期待が高まっていくであろう電子図書館について、専門家から直接講義を受けられるということで、参加者は熱心に耳を傾けていました。

講義後のアンケートでは、基本情報から実際の導入事例まで幅広くお話しただけのため、大変分かりやすく今後の参考になったとの感想を多数いただきました。



- 県立図書館の資料は、市町立村図書館などを通じて利用することもできます。お近くの図書館、公民館図書室等の読書施設にご相談ください。
- 県立図書館では、千葉県に関する資料を収集しています。グループ・職場などで資料を発行されたときには、情報をお寄せください。

編集長の独り言

例年より寒さを感じたこの冬の間も、木々は春に備え、しっかりと芽吹き準備をして来ました。3月、木々の芽から柔らかな緑が覗いています。本は厳しいコロナ禍の日々を乗り切る栄養を私たちに与えてくれます。そんな一冊を見つけるお手伝いができれば幸いです。

編集・発行：千葉県立東部図書館

〒289-2521

千葉県旭市ハの349

TEL 0479-62-7070

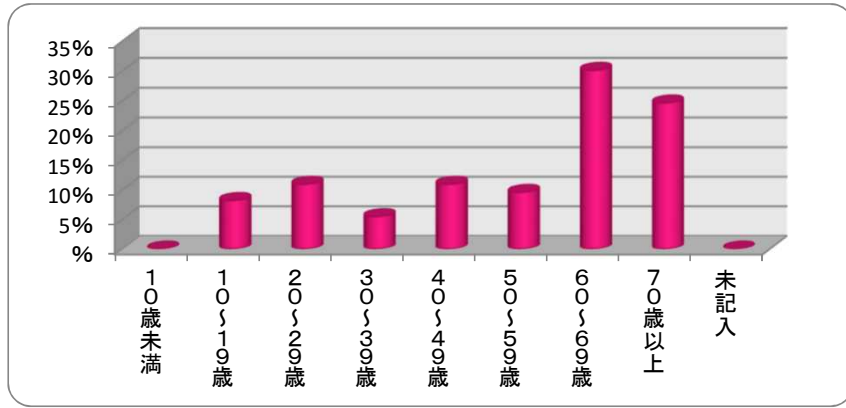
FAX 0479-62-7466

URL: <https://www.library.pref.chiba.lg.jp/>

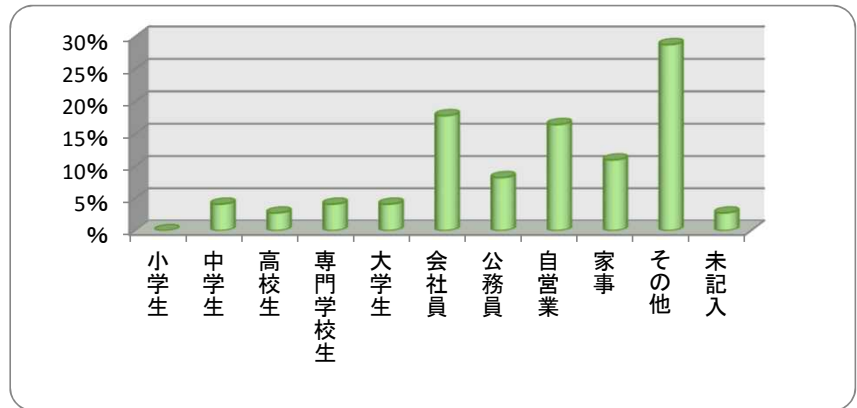
東部図書館 利用者アンケート集計結果

令和3年10月27日～11月9日に実施しましたアンケート調査の結果をご報告します。
アンケート回収枚数は73枚でした。アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

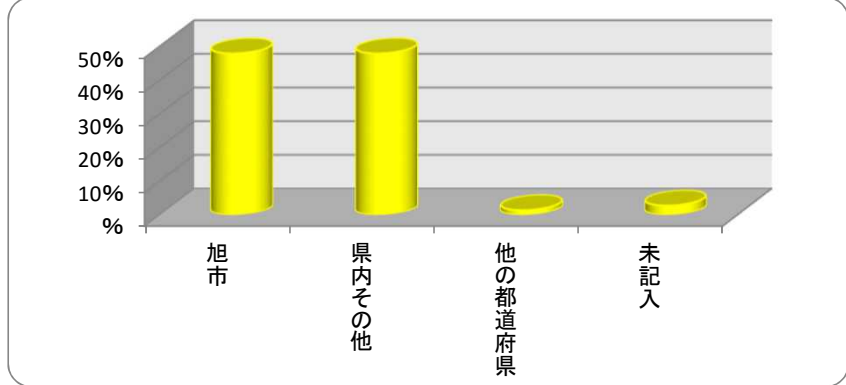
○年齢



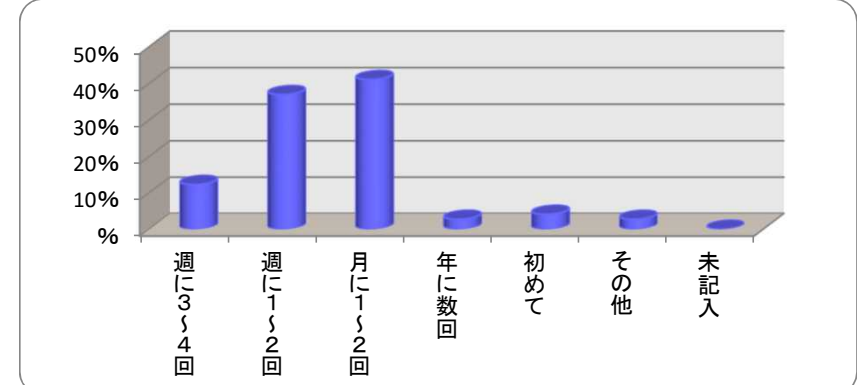
○職業



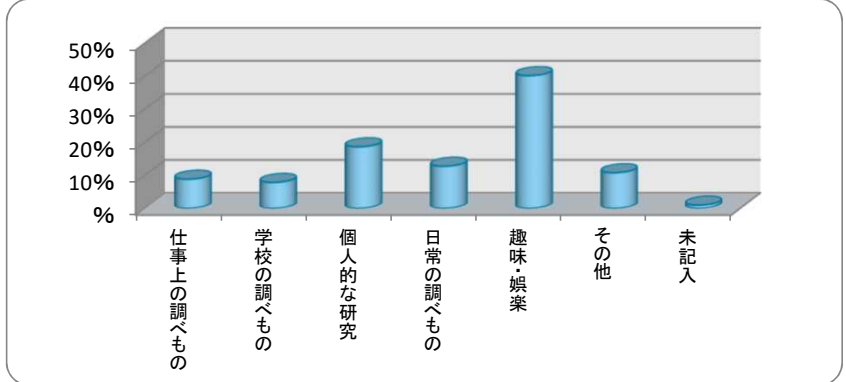
○住所



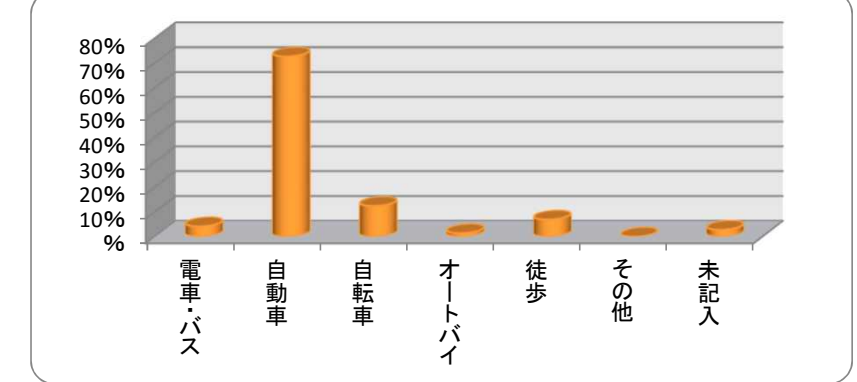
○来館頻度



○来館目的



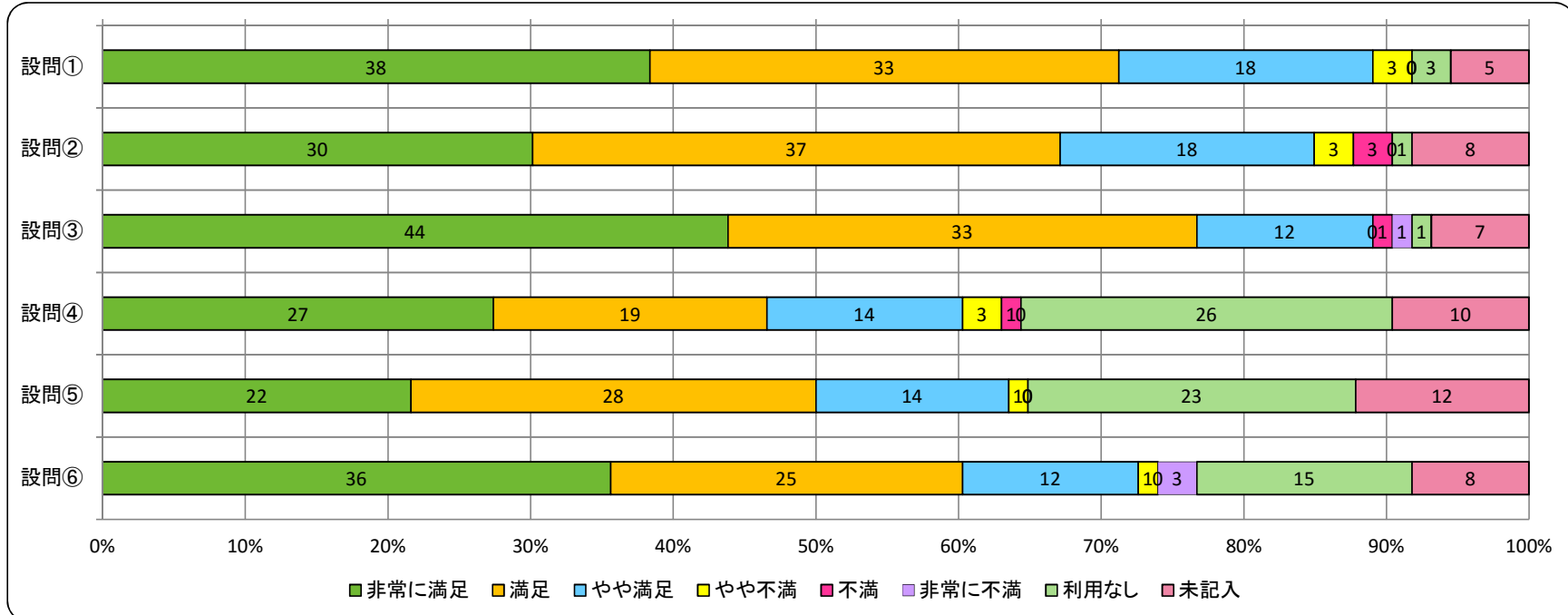
○交通手段



・回答者の年齢は、60代の方、70歳以上の方が多く、合計すると55%になります。また、20代、40代の方の回答が例年に比べ増えています。
 ・お住まいは旭市内が全体の約半分で、残り半分は県内の市町村の方でした。
 ・来館頻度は月に1～2回という方が最も多く41%でした。また、週1～2回と合わせると78%でした。
 ・来館目的では趣味・娯楽という方が最も多く40%、仕事上・学校・日常の調べものが29%、個人的な研究は19%で、調べ物や研究のために利用される方は、約48%でした。

共通設問

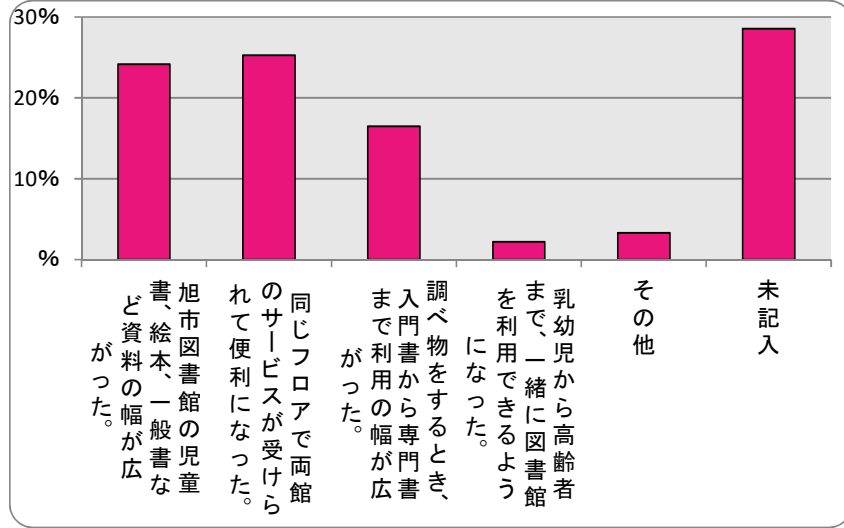
- ①お探しの本(資料)は利用できましたか。
- ②館内案内図や書架の表示、カウンターの表示などは、わかりやすいですか。
- ③職員の対応はいかがですか。
- ④他の図書館からの本の取り寄せの期間や手続きはいかがですか。
- ⑤資料検索機、インターネット等のパソコンでお探しの情報は得られましたか。
- ⑥調べものや探している本のことで、職員に相談したときの回答は的確でしたか。



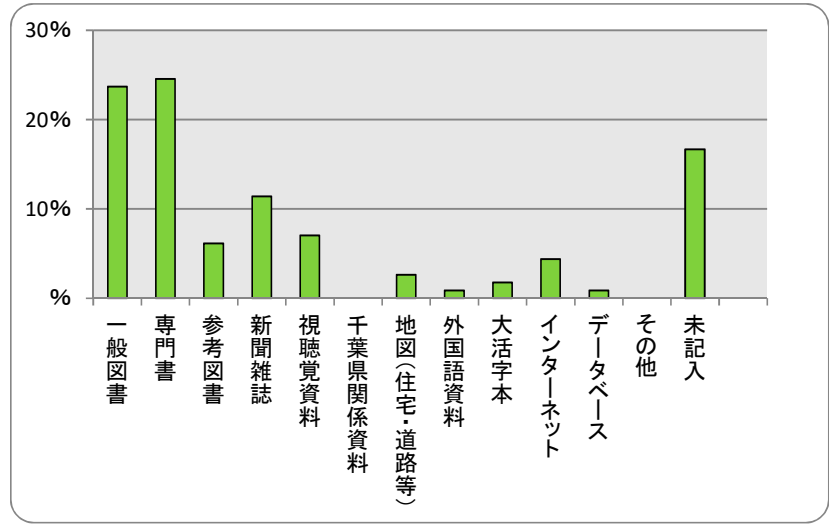
設問1、3で、7割以上の方に「非常に満足」または「満足」という評価をいただきました。特に設問3の職員の対応についてが最も評価が高く、4割以上の方が「非常に満足」の評価でした。
 一方、設問4から6では、「利用したことがない」という回答が多く見られました。しかし、昨年に比べ「利用したことがない」と回答する方が少なくなっています。

東部図書館設問

1. 7月から旭市図書館が東部図書館に開館し、両館の貸出・返却等のサービスを行っています。よかったと感じる点はどれですか。(複数回答可)

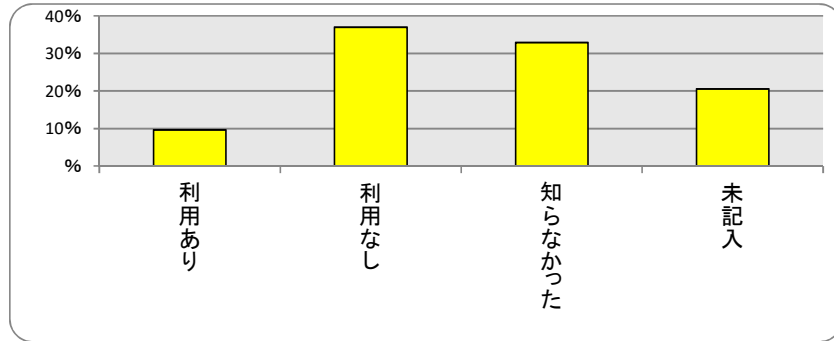


2. どのような図書館資料・情報を利用しますか。(複数回答可)

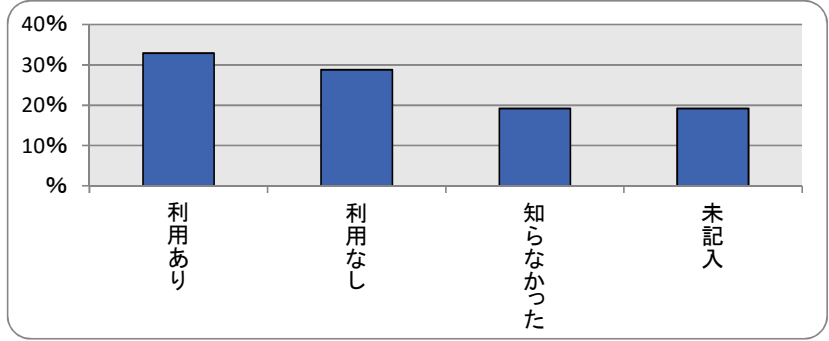


3. 次のサービスを知っていますか。

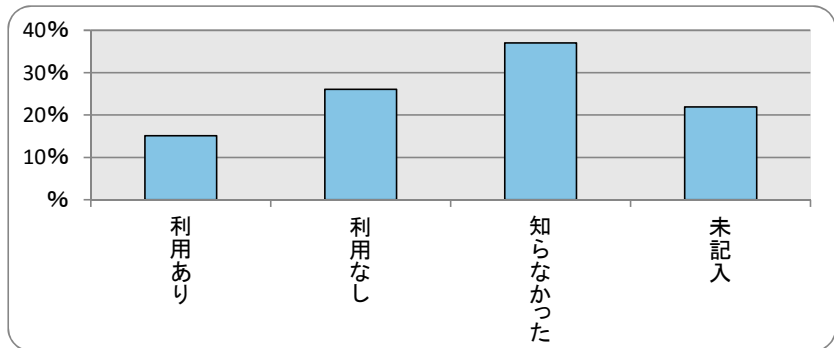
① 電子メールによる調査相談



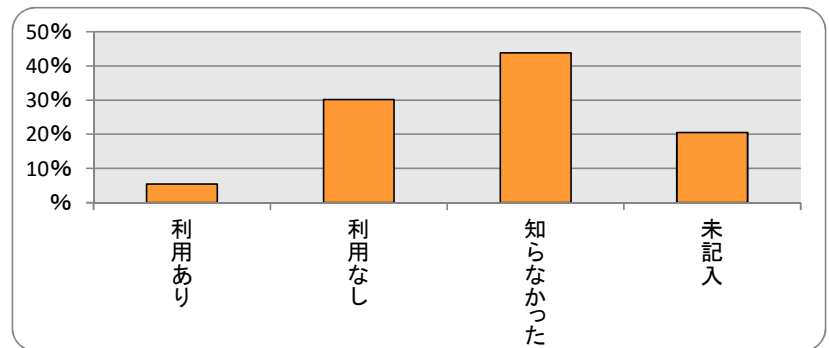
② 県立図書館ホームページからの図書予約、貸出期間延長



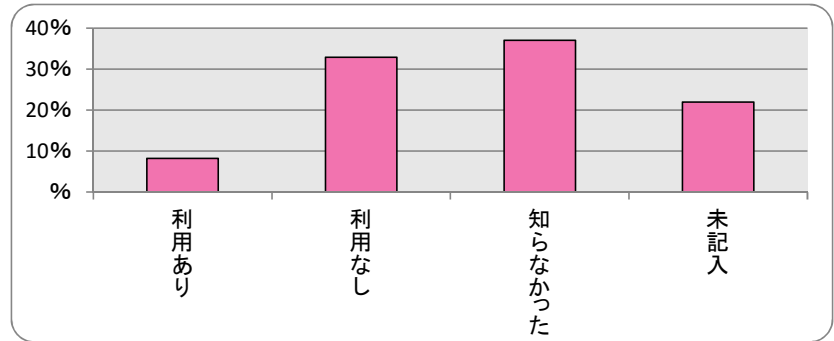
③ 調べ物の手順を紹介したチラシ等(パスファインダー・図書館から世界(ニュース)が見える)



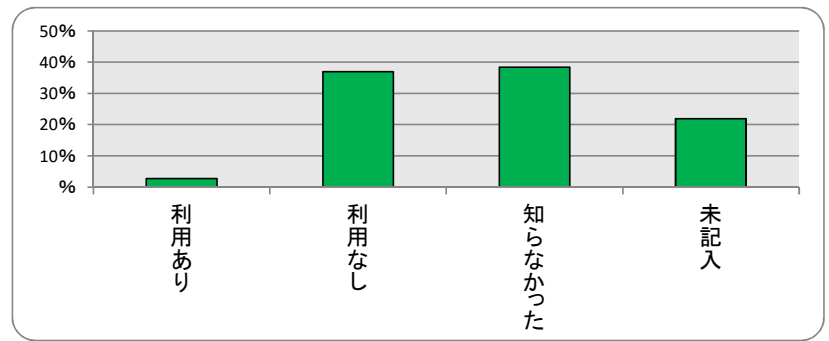
④ 千葉県立図書館のTwitter(ツイッター)



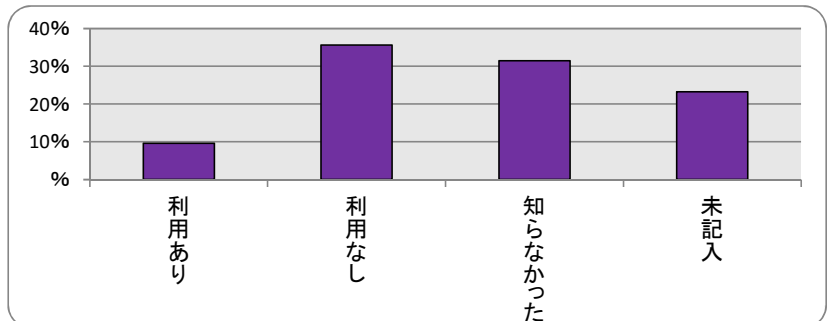
⑤ シニア世代のための情報を提供するコーナー(はつらっライフなび)



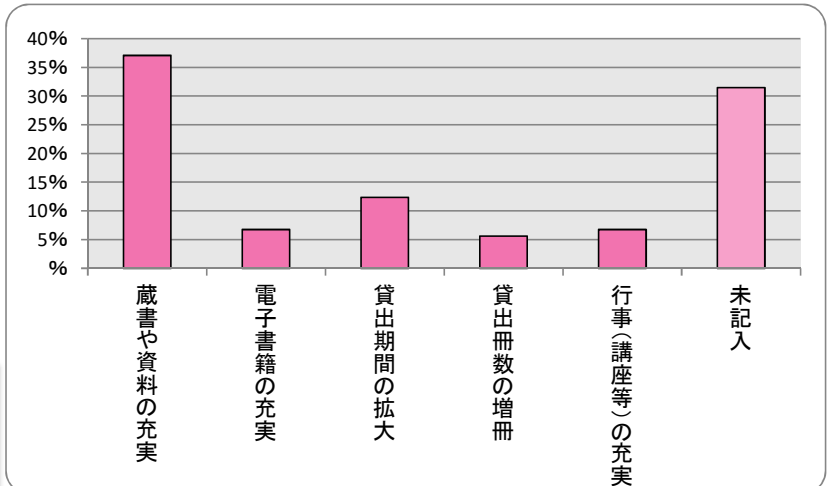
⑥ 資料郵送貸出サービス(有料)



⑦ 新聞記事、法律・判例、官報等のデータベース検索



4. 今後力を入れてほしい取り組み



・7月から旭市図書館が東部図書館に開館したことで「同じフロアで両館のサービスが受けられて便利になった」25%、「旭市図書館の児童書、絵本、一般書など資料の幅が広がった」24%、「調べ物をするとき、入門書から専門書まで利用の幅が広がった」17%の順によかったと回答しています。
 ・利用する図書館資料・情報については、多いものから専門書25%、一般図書24%、新聞雑誌11%となっています。
 ・サービスの認知度については、「県立図書館ホームページからの図書予約、貸出期間延長」を利用したことがあるが33%でした。他のサービスについては、「知らなかった」「未記入」の割合が高く、認知度が低くなっています。
 ・今後力を入れてほしい取り組みでは、蔵書や資料の充実が37%、貸出期間の拡大が12%となっております。

※項目エ「貸出冊数の増冊」の具体的な希望冊数

